



牡幼だより

第12号

【ホームページ】<http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～クロッカス開花～



日本の文化にふれる

2月29日には、りんごの会(昔語りの会)の五十嵐様をお招きして、親子で聞く「語りの会」を開催しました。五十嵐様から「ひたい柿」「みみずくの染め物やさん」「間のいい猟師」の3つのお話を語っていただきました。語りは、状況描写を極力省きながら、それぞれの地方の方言で語られているそうです。文章を読むこととは異なる独特のリズムや語り口があり、生の声として聞くからこそ、五十嵐様の心地良い温かい言葉にぐいぐい引き寄せられていくようでした。(五十嵐様は、小澤俊夫様〈指揮者 小澤征爾氏の兄〉のもとで語りについて学ばれたそうです。ご興味のある方は、ぜひ調べてみてください。)



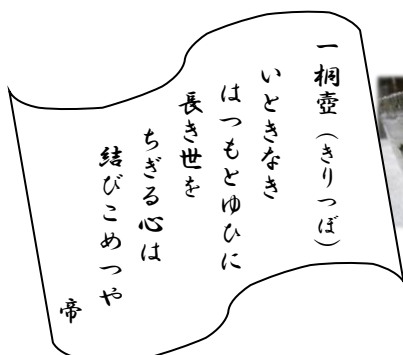
3月1日には3名の茶道の先生をお迎えして、4年ぶりのお茶会を開催しました。遊戯室に赤い野点傘がさし掛けられ、立派な茶席が出来上がりました。そして、子どもたちが製作したひな人形と幼稚園の七段飾り雛に見守られ、お茶会が始まりました。



最初に茶道の先生から「お菓子のいただき方」や「お茶の飲み方」などの作法を教えてください、ちょっぴり緊張しながらも所作をまねする子どもたちでした。また、お茶碗の絵柄がとても素敵でした。大人用には、源氏物語の和歌が刻まれていて、大人も興味津々で眺めさせていただきました。

今回は、子どもたちも茶筌を使ってお茶を点ててみました。自分で点てたお茶は、もちろんおうちの方に味わっていただきました。お琴の音色が流れる中、雅で厳かな日本の伝統行事の雰囲気味わった子どもたちでした。

最後のお茶会には、これまでお世話になった地域の方からもお越しいただきました。子どもたちの成長をともに喜んでいただき、ゆったりと時間が流れていきました。



第2回学校評議員会(2/16)

令和5年度、牡丹山幼稚園最後の学校評議員会を実施しました。評議員の方からは、「幼稚園の壁面のおひな様を見ると、丁寧で豊かに子どもたちが育っていることを感じる。」「3人の子どもの成長ぶりから、自己肯定感の高さや人と一緒に楽しい思い、たくましく園で過ごす様子がうかがえ、幼児教育の質の高さを感じた。」等、肯定的な評価をいただきました。また、昨今の社会問題から「これからの親世代が、園を選ぶ基準がサービス重視になっている現代、よい保育を消さないようにするためにどうしたらいいのか。」「不登校の背景にあるものは。」等、これからの教育の課題についても話題になりました。

評議員の皆様、いつも牡丹山幼稚園を温かく見守っていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

3月生まれの誕生会(3/7)

3月生まれの子どもにとって、待ちに待った6歳の誕生会です。今回は3月生まれの2人の職員も加わりました。

お祝いをしてあげる2人の子どもは、誕生児を喜ばせてあげようと、こっそりとプレゼントを準備していました。「〇〇君の好きな恐竜を作ってあげたいな。」と紙粘土でバシロサウルスを作り、もう一人の子どもは「いつもみんなを笑わせてくれてありがとう♡」とメッセージ入りのメダルを首にかけてあげました。友達を思いやる素敵な誕生会で



自分だけのおひな様作り。丁寧に慎重に心を込めて製作中。



木戸中学校へ、おひな様の飾りつけのお手伝いに行きました。



給食後、1年生と2年生と一緒に♪ダルマサンガコロнда♪



絵本タイム。今回のお話は「もいのかくれんぼう」でした。



幼児交通安全教室を実施しました。学校からの帰り道も迷わないようにね。



保育室では、「すいちゅうがっこう」という学校が開校しました。メモをとってお勉強中です。



最後のすこやかタイム(食育)は、1年間の振り返りをしました。「ごちそうさまの意味は？」



すこやかタイム(健康)。小学校には「保健室」という所があることを教えてもらいました。